

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第93号

[令和8年5月15日]

発行 京都府京丹波町議会

令和8年 3月定例会

2P 新年度予算に対する13の着目点

5P 予算、条例の制定、改正など

9P 一般質問に12議員

指定地域共同活動団体制度条例を

21P 令和7年度子ども議会／第61回追跡調査

22P 人（ひと）上田大輔さん、亜紀さん（行佛区）／編集後記

表紙写真

第35回京丹波町ふるさと人形展



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
1,055,377件(R8.4.20現在) 前号より724件増



新年度予算に対する

13の着目点



西山芳明 議員

基盤の確立、健全化に向けた

努力の詰まった予算

財政調整基金などの基金残高がひっ迫する中、地方交付税など歳入状況も厳しくなることが想定され、歳出面では、新庁舎整備などの元金償還が始まったことや、人件費や社会保障関係費など義務的経費の大幅増加により大変厳しい財政状況

であるが、個人税、法人税の増加やふるさと応援寄附金前年比25%増の5億円など自主財源の充実に努め、町長のまちづくりの基本理念である「元氣、希望、笑顔のあふれる京丹波町に」を具現化した、財政基盤の安定化と健全化に向けた予算。



樋口由実 議員

暮らしを支える

基盤整備と財源確保

問 町営住宅維持改修工事の目的と、団地ごとの戸数および改修内容は。

答 町営住宅の長寿命化を目的に、耐用年数経過後も長く使用できるように計画的な修繕を実施。内容は屋根・外壁の改修で、質美団地8戸、木上団地4戸で

行う。

問 企業版ふるさと納税について、寄附拡大に向けた短・中長期の具体的施策は。

答 企業版ふるさと納税は、PR冊子を活用しトップセールスで拡大に取り組む。



谷口勝己 議員

「元氣、希望、笑顔の

あふれる京丹波町に」を

目指し各施策の実行を

問 農業公社運営補助金、約3000万円は過年度の決算を基礎に、予算の立案をしているのか。

答 当年度事業計画書を受け、その事業内容や過年度の事業内容なども含めて検討し予算立てしている。

問 令和8年度の天然

林整備事業実施箇所は、

また、予算額200万円であるが、今後整備面積を増やす考えはないか。

答 令和8年度の実施地域は、町内林業事業体と調整中である。

また、今後は天然林の整備や広葉樹の活用などの調査研究を行う。



居谷知範 議員

予算特別委員会を

終えて

今回、予算特別委員会委員長として、令和8年度当初予算審議の議事を進行した。

予算特別委員会で、それぞれの委員が予算書や資料を深く読み込み、着眼点や問題意識を持ち、活発な質疑となった。予算は行政が行うすべての事

業の根拠となるものである。そして、予算審議は単に使い道を確認する場ではなく、行政の権限に対する最も強力なチェック機能であり、政策の実効性・行財政の健全性・住民の信頼を左右する極めて重要なプロセスであることを再確認した。



山崎眞宏 議員

稼ぐ自治体

京丹波プロジェクト

令和8年度当初予算では、京丹波町の強みである農畜産物や豊かな食資源を生かし「食で稼ぐ」取り組みが重点施策として位置付けられている。加工・販売・観光との連携を進め、地域全体で収益を生み出す産業づくりを進めることが期待される。

ふるさと納税の活用や、生産から流通・販売までを見据えた取り組みを強化し、食を基軸とした地域産業の発展を目指す。

京丹波の魅力ある食を全国へ発信し、農業と地域経済の活性化につながる施策として注目する。





山崎裕二 議員

このままでは、早晩
予算が組めなくなる。
叡智^{えいち}結集の取り組みを

町民のみなさんと深い関わりがあり、幸せを下支えし続ける町の行財政運営には持続性担保が絶対条件である。毎日1%の成長「衰退」で、1年後には38倍「ほぼ0」になる。社会の動きや世代間の流れを注視し、短、中長期的な課題を見据え、

そこから逆算して、今、何をなすべきかだけにとどまらず、今、何をなさざるべきかといった生存戦略を併せもつことが、人口調整局面下の日本、とりわけ、その先駆をひた走っている京丹波町に不可欠との認識を改めて強くした予算内容だった。



伊藤康二 議員

町の財政運営にスマート
シュリンク「賢く縮む」
概念の注入を

スマートシュリンク「賢く縮む」とは、人口減少が避けられない状況下で、町行政や公共サービスのあり方を見直し、町民のみなさんの生活の質を維持・向上させながら、インフラや公共サービスを集約して効率化することを目指す適応戦略の

ひとつである。どんな丈夫な風船でも空気を入れ続けられれば、破裂する。エクスパンション＝膨張した風船の空気を適切にシュリンク＝収縮していくことが長持ちの秘訣である。そういった意識で町の財政運営も行われようように注視していく。



奥田健次 議員

全国都市緑化フェア関連事業に
交付金の有効活用を

財政が厳しい中、本年9月から全国都市緑化フェアが開催される。関連する事業に交付金の活用が必要ではないが「きょうと地域連携交付金」を活用する。

アにおいて、JR和知駅から会場までの交通アクセスは。
答 わち山野草の森までの交通アクセスは、デマンドタクシーの活用も見込まれる。



島中清司 議員

アスリート、須知高校生に
とって魅力的で夢を追いかけ、
駆け抜ける

健康づくり、地域交流、スポーツ文化の発展を目指す取り組みである地域スポーツ振興事業に一般質問（令和6年3月議会）で取り上げたスポーツ活動において優秀な成績を収め、全国大会や国際大会などに出場する町内に居住する選手及び団

体に対して交付する激励金制度の新設。
須知高校の教育の振興・魅力化をはかり、一般質問（令和8年3月議会）で取り上げた町内外に向けた情報発信、認知度向上につながる戦略として魅力化コーディネーターの育成。



東まさ子 議員

人口が減少する中での
まちづくりは住民参加で

国はスマート農業化を進めるが、特にコメ作りは、いろいろな機械が必要になり、後継者が育ちにくい。零細事業者の存在もなければ、中山間地域の農業は守れない。

図書館中央館の丹波マーケスへの移転は、現在、現地調査を行い、建築基準法や消防法、図書館法など関係法令との適合性調査が実施されている。現在の図書館機能がマーケスの中へ収まるのか、本は重いので床が持ちこたえられるかについての調査もされている。
町民の意見を聞き取り生かすまちづくりを。



大澤順可 議員

住宅環境の整備は
町の未来を支える
最も大切な投資の一つ

安心して暮らせる住環境は、子育て世代の定住促進にも、高齢者の生活の安定にも欠かせない基盤である。
町営住宅は、生活を支える大切な公共住宅だが、老朽化が進む棟も多く、修繕が課題である。

施・安全性の確保・長期的な更新計画の明確化・住み心地の改善は、町営住宅に暮らす方々の安心につながるだけではなく、地域コミュニティの維持にも重要であると考えている。





松村英樹 議員

子ども誰でも通園制度に 着目！

問 令和8年4月1日より全国一斉にこども誰でも通園制度がスタートする。親の就労要件を問わず0歳10ヶ月から満3歳未満の未就園児を対象に、月10時間まで町内の認定こども園を利用できる制度である。障害のある子どもの通園も可能か。

答 障害児などの受け入れについては、医療的ケア児の受け入れを行なっている所もあり、障害の程度、子どもの状態によって、受入れ可能か面談により決定していく。



梅原好範 議長

本町のさらなる成長と 既存事業の継続が 最重要課題

住民のみならず、福祉向上を目的に実施した大型事業の償還、人事院勧告に対応するための費用捻出、さらに天井知らずの諸物価の高騰などにより、本町の財政は大変厳しい環境にあるものと認識する。しかしながら、住民のみならず、日々の生

活を送る中で、不安を感じさせることのない行政運営は不可欠なものであることから、既存の住民サービスを極力低下させることなく、本町の次世代を担う子どもたちのため、まちの成長に期待の持てる予算に着目し内容を精査した。

予算審議の討論

一般会計

反対討論 東 まさ子 議員

住宅改修助成制度の復活を。給食無償化は町内の子どもたちすべてに。図書館中央館の移転は十分な検討を。

賛成討論 西山 芳明 議員

自主財源の確保に向けた積極的な取り組みや、町施策の見える化に腐心した事業の推進を目指す姿勢が伝わる。

賛成討論 伊藤 康一 議員

人口減少や地域経済の活性化、防災・減災への対策など、町が直面する課題に対応した予算内容と評価する。

賛成討論 樋口 由美 議員

財政健全化を図りつつ、町民生活と将来投資を両立する予算と評価する。

賛成討論 山崎 眞宏 議員

大切な税金による予算であり、執行状況を注視しつつ、効果的な

国民健康保険事業

反対討論 東 まさ子 議員

子ども・子育て支援納付金を国保税に上乗せ徴収すべきではない。18歳までの均等割の軽減を国に求めるべき。

賛成討論 大澤 順可 議員

安心して医療を受けられる大切な制度。予防医療の充実が進み、医療費の適正化、税收率向上・安定化に期待。

後期高齢者医療

反対討論 東 まさ子 議員

子育て支援の財源は、後期高齢者に負担させるのではなく、大企業や富裕層に自分の税負担を求め確保すべき。

賛成討論 松村 英樹 議員

限られた財源の中で、医療費の適正化と健康寿命延伸を図り、高齢者の疾病・重症化予防に対応している。

介護保険事業

反対討論 東 まさ子 議員

利用者の負担増やサービス削減計画は撤回し、介護する人も受ける人も大切にされる制度へと国に要望を。

賛成討論 谷口 勝巳 議員

今日まで介護保険事業が的確に運営されており、今後の高齢化社会において必要不可欠な事業であり賛成。

水道事業

賛成討論 東 まさ子 議員

国の地方交付金を活用し、水道の基本料金を4月請求分から9月分まで6カ月間、免除する予算に賛成。

第1回臨時会

1月29日、第1回臨時会が開催されました。一般会計補正予算など3件が提出され、全議案を可決しました。

一般会計補正予算 (第5号)〔専決処分〕

第51回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行に係る追加補正を行うもの。
〔全員賛成〕

一般会計補正予算 (第6号)

ふるさと応援寄附金事業、社会福祉施設等に対する物価高騰対策支援事業、水道事業会計補助事業、生活応援商品券事業、中学校教育振興一般事業に補正を行うもの。
〔全員賛成〕

水道事業会計補正予算 (第3号)

水道料金基本料金等免除措置に係る事務費の増額。〔全員賛成〕

一般会計予算119億2000万円 特別会計予算93億9520万円

●令和8年度一般会計 主な事業●

新規・拡充事業		予算額	主な内容
まちづくり 健康やかで幸せな	予防接種事業	4096万円	RSウイルスワクチン定期接種ほか
	フードバレー推進事業	1916万円	フードバレー推進事業費補助金
	有害鳥獣対策事業	8331万円	緊急銃猟に係る経費ほか
	林業振興対策事業	3518万円	里山林整備事業ほか
のまちづくり 教育と子育て	人材育成による持続可能なまちづくり事業	1836万円	須知高校魅力化ビジョン推進費ほか
	学校教育情報化機器整備事業	1億5357万円	端末機器の更新を行い、ICT教育環境の整備・充実を図る
	地域スポーツ振興事業	216万円	全国大会等出場激励金
	こども園運営事業	1692万円	支援を強化するため創設された新たな通園制度ほか
感じるまちづくり 人のふれあいを	鍾乳洞公園管理運営事業	1595万円	合併浄化槽改修に向けた設計業務を実施
	移動系防災行政無線維持管理事業	1184万円	令和8年度 基本設計業務を実施
	From京丹波推進事業	791万円	ヒト・モノ・コトを一元化し、本町のブランドイメージを向上させる
	都市緑化フェア推進事業	2691万円	フェア全般における企画・運営を支援

令和8年3月定例会は、3月2日から3月25日まで開催されました。本定例会には、令和8年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算や条例の制定・改正など52件が提出され、全議案を可決しました。12議員が一般質問に立ち、42項目について執行部の所見をたどりました。なお、本定例会には、延べ24人の傍聴がありました。

主な質疑・討論

歳入関係

問 土地、立木売り払い収入の件数と場所は。

課長 広瀬地区内の主伐で発生する原木と、升谷地区内の間伐で発生する原木の2件である。

問 味夢の里使用料で修繕に向けた積み立ては。

課長 積み立ては検討しているが、現在は行っていない。

歳出関係

問 寄附金が上振れした場合の基金積み立ての取り扱いについて、どのように考えているのか。

課長 上振れ幅にもよるが基本的には、当初予算と同じ寄附金の半

分を歳出に直接充当し、残りを基金積立とする運用を考えている。

問 プロモーション戦略推進事業はどのような事業効果を目指しているのか。

課長 関係人口と地域をマッチングする担い手づくりの推進と、二拠点居住の促進を図るといった事業効果を目指して取り組む。

問 京丹波栗新商品開発支援事業補助金は、昨年度と同額の280万円であるが、根拠は。また、申請は何件で商品化できたものはあるのか。

課長 1件当たりの補助金額を70万円と制度設計している。4件の申請があり、新商品の開発につながり、商品化されている。



京丹波栗新商品開発で商品化されたリキュール





認知症高齢者見守りQRコード入りシール
(10枚1組)

問 がん患者アピラ
ンスケア支援事業補助
金の見込み件数は。
課長 ウイッグ3件、
人工乳房3件を見込ん
でいる。
問 健康増進計画業務
委託料が昨年より増加
となっているが、理由
は。
課長 計画策定は2カ
年であり、8年度は残
る計画策定の業務部分
を実施予定としている。

問 対象や内容などの変更
はあるのか。
課長 7年度と同等回
数の実施を考えている。
金額増加については、
物価高騰などの影響に
よるものと理解してい
る。
問 町内ごみ収集庫の
修繕と新設費用の場所
と件数は。
課長 修繕は13基分を
見込み、設置に係る備
品購入はサイズの異な
る3基分を予算計上し
ている。場所について
は現在のところ具体的

問 家族介護支援事業
の印刷製本費に関して、
認知症高齢者見守りQ
Rコードの在庫数と作
成枚数は。
課長 在庫は3セット
30枚であり、今回20
セット200枚作成予
定である。

問 税制改正が行われ
国保税が増加となっ
ているのか。
課長 子ども・子育て
支援金が新たに創設さ
れ、増加している。

に決まっていない。
問 本町におけるス
マート農業機械の導入
状況は。
課長 年間で3から4
件の申請で推移してい
る。
特別・企業会計
主な質疑・討論
国民健康保険事業

令和8年度に繰り越す主な事業 (※繰越明許費)

事業名	金額	説明
グリーンランドみずほ管理運営事業	3億2379万円	年度内完了が困難であるため
土地改良施設維持管理事業	8100万円	年度内完了が困難であるため
小・中学校一般管理事業	8535万円	LED化工事など
道路新設改良事業	1億4839万円	蒲生野中央北線など
その他の事業	1億6468万円	河川維持管理事業など
合計	8億321万円	

※繰越明許費：特別の事情によって工事などが遅れ、年度内に完了することができない場合、例外として次年度に繰り越して経費の支出ができるようにする予算をいいます。

水道事業
問 水道メーター交換
は、何件を予定してい
るのか。
課長 996件を見込
んでいる。



京都府町村議会議長会会長に
再任された梅原議長

梅原好範議長
**京都府町村議会議長会
会会長に再任**
京都府町村議会議
長会総会が2月20日
に開催され、梅原議
長が、府内全議長の
推薦のもと引き続き
京都府町村議長会会
長に就任。任期は、
令和10年2月まで。
梅原議長は、「京
都の地方議会の現状
を全国に届けるとと
もに、全国の現状や
得た情報を京都府、
また、京丹波町へ持
ち帰り、町民のみな
さまの暮らしがより
安心で豊かなものと
なるよう尽力してま
いります。」と抱負
を語った。

米の価格安定と食料安全保障 についての意見書を可決

主な条例の 制定・改正

19議案が提案され、
全議案を可決しました。

行政組織の一部改編に 伴う関係条例の整理に 関する条例

行政組織の一部改編
に伴い、関係条例の整
理を行うもの。
〔賛成11・反対1〕

賛成討論 居谷 知範 議員

部署間の連携強化と
業務の効率化を図り、
住民福祉の向上と質の
高い町政を実現するも
の。

賛成討論 山崎 眞宏 議員

人口減少時代に対応
し、持続可能な行政運
営を実現するための合
理的な組織改革として
本議案に賛成する。

乳児等通園支援事業の 設備及び運営に関する 基準を定める条例

乳児等通園支援事業

の設備及び運営に関す
る基準を定めるもの。
〔賛成11・反対1〕

反対討論 東 まさ子 議員

保育士不足や余裕が
ない状況下での実施は
慎重であるべき。月10
時間では、子どもがな
じむのに短時間すぎる。

賛成討論 畠中 清司 議員

保育士不足や受け入
れ体制整備など課題は
あるが、改善を重ね前
進すべきであり将来の
投資に対し賛成。

特定乳児等通園支援事 業の運営に関する基準 を定める条例

特定乳児等通園支援
事業の運営に関する基
準を定めるもの。
〔賛成11・反対1〕

認定こども園条例の一 部を改正する条例

乳児等通園支援事業
を実施するため、所要
の改正を行うもの。
〔賛成11・反対1〕

〔賛成11・反対1〕

特定教育・保育施設及 び特定地域型保育事業 の利用者負担額等を定 める条例の一部を改正 する条例

乳児等通園支援事業
の利用に要する費用の
額を定めるため、所要
の改正を行うもの。
〔賛成11・反対1〕

子ども・子育て審議会 の設置に関する条例の 一部を改正する条例

特定乳児等通園支援
の利用定員の設定に関
して意見を聞く必要が
あるため、所要の改正
を行うもの。
〔賛成11・反対1〕

すこやか子育て医療費 助成条例

すこやか子育て医療
費助成の対象年齢を拡
充するため、現条例の
整理を行うもの。
〔全員賛成〕

〔全員賛成〕

賛成討論 東 まさ子 議員

出生から18歳まで病
院窓口での無償化が実
施となり、助成制度が
みんなに行き渡り、家
庭の負担軽減にもなる。

賛成討論 居谷 知範 議員

高校生医療費の立て
替え払いや払い戻し手
続きが不要となる現物
給付化であり、保護者
負担軽減を評価。

国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

子ども・子育て支援
法等の一部を改正する
法律の一部改正に伴い、
子ども・子育て支援納
付金課税額を創設する
ため、所要の改正を行
うもの。
〔賛成11・反対1〕

反対討論 東 まさ子 議員

子育て支援の財源を
医療保険料に上乗せし
て徴収するべきではな
い。国の責任で捻出す
べきである。

国民健康保険病院及び 診療所使用料等に関す る条例の一部を改正す る条例

国民健康保険病院及
び診療所における個室
使用料及び手数を昨
今の人件費や物件費の
上昇に合わせて見直す
もの。
〔賛成11・反対1〕

反対討論 東 まさ子 議員

低い診療報酬や物価
高騰の中での運営と理
解しているが、病院の
個室使用料1100円
引き上げには反対。

介護保険条例の一部を 改正する条例

介護保険法施行令の
一部を改正する政令等
の施行に伴い、所要の
改正を行うもの。
〔賛成11・反対1〕

反対討論 東 まさ子 議員

住民には負担減とな
るところ、特例を設け、
税制改正前の状況に戻
し、負担を求めること
は認められない。



消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、所要の改正を行うもの。
〔全員賛成〕

放課後児童健全育成事業設置条例の一部を改正する条例

のびのび児童クラブ2組の新築・移転に伴い、条例に定める位置を変更するもの。
〔全員賛成〕

契約

放課後児童クラブののび2組新築工事請負契約の変更

契約履行場所の変更によるもの。
〔全員賛成〕

道の駅「瑞穂の里・さらびぎ」再整備工事請負契約の変更

契約内容の変更等に

より、契約金額及び工期を変更する必要が生じたため。
〔賛成11・反対1〕

林道開設事業林道月ヒラ長老線(第2-15工区)開設工事請負契約の変更

工事内容の変更により、工事請負契約の契約金額を変更する必要が生じたため。
〔全員賛成〕

公の施設の指定管理者の指定

瑞穂マスターズハウス及び瑞穂マスターズ農園の指定管理者を指定するもの

指定管理者／グリーンランドみずほJV
指定期間／令和8年4月1日から令和18年3月31日まで
〔全員賛成〕

計画策定

過疎地域持続的発展市町村計画の策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和12年度までの計画を定めるもの。
〔全員賛成〕

令和7年度補正予算

決算見込みにより精査をしたもので、一般会計ほか13件の特別会計が可決されました。

人事(敬称略)

人権擁護委員候補者
山田 初美(再任)
乾 正(新任)

発委第1号

議会基本条例の一部を改正する条例の制定

議員が審議会等の委員に就任する場合の条

件を改正するもの。
〔全員賛成〕

発委第2号

議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
行政組織の一部改編に伴い、常任委員会の所管を改正するもの。
〔全員賛成〕

意見書(要旨)

米の価格安定と食料安全保障についての意見書

提出者 総務産建常任委員会委員長
米の適正な価格形成実現と農業が安定的に行われるための支援や生産環境の保全整備による農業の多面的機能をさらに重視した政策実施を求めるもの。
〔全員賛成〕

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみの表示です。
ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

令和8年3月定例会

審議結果	議案名など	議員名											
		樋口 由実	居谷 知範	西山 芳明	谷口 勝巳	山崎 眞宏	山崎 裕二	奥田 健次	東 まさ子	伊藤 康一	畠中 清司	大澤 順可	松村 英樹
可	行政組織の一部改編に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	認定こども園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	子ども・子育て審議会の設置に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	国民健康保険病院及び診療所使用料等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	道の駅「瑞穂の里・さらびぎ」再整備工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	令和8年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	令和8年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	令和8年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	令和8年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
可	令和7年度町営バス運行事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対



やまさき ゆうじ
山崎 裕二 議員

指定地域共同活動制度に係る新たな条例制定を

町長 ニーズをしっかりと把握し検討していく

問 指定地域共同活動団体制度の概要は。

課長 地域の主体的で持続可能な取り組みの推進を目的として創設された制度である。

問 同団体の設立・運営支援などに要する経費への財政措置は。

課長 特別交付税による措置（措置率・2分の1）がある。

問 地域の多様な団体が、行政が担ってきた公共サービスの一部により発展的に参画していけるよう、同団体制度に係る新たな条例の制定を。

町長 地域課題の現出は事実である。ニーズをしっかりと把握し、研究していきたい。

危険木伐採などの
伴走支援体制の確立を

問 （公社）京都モデルフォレスト協会による、ふるさとの里山林保全活動推進事業とは。

課長 人が入りやすい

森林に整備するための基盤整備事業で、支援費用は活動箇所1件あたり税込50万円が上限である。

問 同事業を活用し、危険木伐採などが積極的に展開いただけるよう、広く周知を。

部長 募集案内がされた際には、広く周知できるように取り組んでいく。

問 活動をサポートする同事業への伴走支援体制の仕組み化を。

町長 協会事業分にあわせて支援できる仕組みづくりを、現在、関係機関と協議している。森林に起因する災害防止が図られるよう取り組んでいく。

学校内の安全確保を

問 丹波ひかり小学校内を囲む木柵が朽ちてぐらついており、機能・役割を果たしていない。早急な手立てを。

課長 令和8年度から、

順次、計画的に改修を進める予定である。

修繕への備えと健全な
行財政運営の両立を

問 予期せぬ突発的で不可避な対応も念頭に置き、施設修繕のための目的基金を設け、毎年一定額の積立を。

町長 町の財政状況は非常に厳しく、資金的な余裕がなく、計画的な積立がままならない状況である。

デジタル地域通貨事業
の再考を

問 どこまで、いつまで負担を許容できるか、事業撤退、抜本的な見直しも射程に入れた地域通貨に対する慎重な洞察と賢明な判断を。

町長 財政負担を伴うことでもあり、事業全体の費用対効果などもふまえ、今後の方向性をしっかりと見定めていきたい。



丹波ひかり小学校 北側・西側を囲む木柵



健康づくりや交流を目的とした楽しむ ホッケーの推進に取り組むべきでは



はたけなか せいじ
島中 清司 議員

教育長 楽しむイベントを開催するなど、交流・親睦を目的とした取り組みを行っている



グリーンランドみずほホッケーグラウンド

問 競技スポーツに加え、健康づくりや交流を目的とした楽しむホッケーを推進することで、競技人口の維持と地域コミュニティの活性化が期待できると考えるが見解は。

教育長 楽しむイベント「スウィーツホッケーフェスティバル」を開催するなど、交流・親睦を目的とした取り組みを行い、ホッケータウン認定により交流人口、ホッケー人

問 口の拡大を目指す。合宿、大会の積極的な誘致、宿泊・飲食・観光と連動させる仕組みづくりが重要と考えるが見解は。

教育長 ホッケータウンの交流を生かし、昨年度は他府県から多くの参加があった。引き続き大会、合宿の誘致を積極的に行う。

問 町内外に向けた情報発信、広報を強化することで、認知度向上につながるかと考える。

問 どのような発信での戦略を考えているのか。

教育長 ホッケー協会によるSNS、ホームページを中心とした情報発信やミニホッケー場でのイベント開催など、さらなる特色ある情報発信を進める。

町有土地及び施設等活用検討委員会とは

問 町有土地及び施設等活用検討委員会の設置目的、構成委員は。

課長 町民サービス向上、健全な財政運営を図ることを目的として、総務部長を委員長とし、関係する部長、課長級18名で構成している。

地域コミュニティ検討会議での課題は

問 役員のなり手不足、活動の担い手の高齢化、行事や負担の集中といった課題が指摘されているが、これらをどのように検討しているか。

部長 担い手不足や役員の負担などの意見は多く、必要性や基準を見直す提言もあり、検討を進める。

ふるさと人形展の改善点や課題は

問 広報はどのように行っているか。認知度の拡大や来場者の増加、地域経済への波及効果などに対する改善点や課題は。

課長 チラシの全戸配布、あんしんアプリ、ホームページによる広報を行っており、今後は、内容の工夫、地域と連携して取り組むなど改善が必要と考える。

問 人形などの受け入れや維持管理の現状と今後の対応方針は。

課長 収納スペースの確保ができず、受け入れについては検討する。



いたに ともりの
居谷 知範 議員

「やさしい日本語」の活用を推進すべきでは

課長 理解が深まるよう、取り組んでいきたい



京丹波町国際交流協会のイベント「ゆかたで踊ろう」

問 外国人住民の推移の概略は。

課長 本年1月末で312人であり、5年前に比べ125人の増となっている。

問 生活に直結する情報、税・保険など義務のあるもの、防災情報などをやさしい日本語で整備する考えは。

課長 外国人の方が自由なく暮らしていくため、やさしい日本語での対応が必要である。理解が深まるよう、取り組んでいきたい。

問 消防団員の減少が著しい。外国人の消防団への入団を推進すべきでは。

課長 国籍を問わず、地元部を中心に積極的に勧誘していきたい。

問 第3次京丹波町総合計画に、地域の持続性を高める施策として、多文化共生の取り組みの推進を盛り込むべきでは。

部長 状況に合った施策などが盛り込まれるよう、しっかりと議論していきたい。

適切な共同作業所の運営を

問 運営管理を委託する京丹波町共同作業所において、利用者の個別支援計画の未作成による自立支援給付費の過大請求が明らかになった。町としての対応および責任は。

町長 利用者およびご家族に、率直におわび申し上げたい。チェック機能を高め、京丹波町社会福祉協議会（以下、社協）とともに、再発防止に努める。

問 今回、最も不利益を被ったのは利用者やその家族であり、共同作業所に対する不安や、不信感を抱かせることになったのではないかと推測する。町として今後の対応は。

町長 適切なサービスが継続して提供されることにより、利用者やご家族が安心して生活できることを第一に考

え、社協とともに、しっかりと対応していきたい。

問 再発防止に向けた方針・方策は。

部長 契約に基づく事業実施状況調査を実施することで、適切に確認を行い、再発防止に努める。

部活動の段階的な地域移行を

問 部活の拠点校方式と国が示す地域移行のガイドラインとの整合性は。

教育長 自校から他校へ活動場所を移すことは、地域展開のステップの一つになり得る。

問 受け皿のある部活動から、段階的に移行していく考えは。

教育長 今後3年をめぐりに可能なスポーツ競技、文化活動から、まずは土曜日を中心に地域クラブへの段階的な移行を進めたい。



京都縦貫自動車道の 機能強化を目指した要望を



いとう やすじ
伊藤 康二 議員

町長 片側二車線化の早期着工は府知事への最重点要望として続けていく

問 縦貫道の交通量の推移、渋滞発生・事故発生状況の把握は。

課長 交通量は微増傾向、渋滞や事故の状況は未把握である。

問 町区間片側二車線化の必要性の認識は。

町長 地域振興、安全快適な通行・移動確保、災害などによる国道通行止めの代替路利用などが挙げられる。

問 要望活動の現状と今後の行動予定は。

町長 全域ではないものの、園部IC〜丹波IC区間が優先整備区間に選定され、要望が進みつつある。片側二車線化の早期着工は府知事への最重点要望として続けていく。

問 国交省へ直接、要望などを行う考えは。

町長 京都府高速道路網整備促進協議会を通じて積極的に要望を行っている。

感震ブレーカーへの補助創設を

問 感震ブレーカー設置の必要性は。

課長 町民のみならず、の生命財産を守る上で、有効な防災対策のひとつである。

問 他市町村での感震ブレーカー補助制度の導入状況の把握は。

課長 府内では、京都市が分電盤タイプの感震ブレーカーへの補助制度を設けている。
問 感震ブレーカー設置

置補助制度の導入を。
課長 幅広く情報収集を行い、調査研究を行った上で制度導入の可否を検討していく。

スマートシユリンク 転換のまちづくりを

問 町の財政力指数は0・27である。財政状況に対する評価は。

部長 類似団体と比べ、広域な行政区域を抱えることや山間部、過疎地であることをふまえ、指数は低くならざるを得ないと考えている。

問 財政基盤強化に向けた中・長期的な方針は。

町長 外部資金の獲得により、持続可能な発展に向けて取り組む。

あわせて、行財政改革を柱とした多角的な対策も検討していく必要がある。行政事務の効率化、無駄の削減の徹底により、経費の抑制に努めていくとともに、業務プロセスの見直し、ICT活用を進めることで、限られた財源を最大限に活用して、住民サービスの質を維持・向上させることを目指していく。

問 老朽化や運営難の施設などの整理を。

町長 重要な課題であり、施設の使用状況や財政状況を考慮しながら、検討していきたい。

住宅に防災機器を備えましょう!!

【感震ブレーカー】地震後の送電再開時の電気火災を防ぐ

電気火災の事例

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱 → 停電が復旧し、ストーブが作動 → 紙類に着火し、火災が発生

家具が転倒し、「電気コード」が下敷きや引っ張りにより損傷 → 停電が復旧し、通電した瞬間、電気コードがショート → 散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ

消防団・消防組合による感震ブレーカー啓発チラシ



おおさわ じゅんか
大澤 順可 議員

もしもの時に備え、町民の命と生活を守るために、 今後も防災・減災に力を入れるべきでは

町長 災害に強いまちづくりを目指していくことは重要



備蓄品の一部（役場本庁倉庫）

問 本町が指定している避難所は現在、何カ所あるのか。また避難所には冷暖房の完備や飲食料品、紙オムツやミルク、生理用品などの備蓄品もあるのか。

課長 一次避難所88カ所、二次避難所24カ所、屋外避難所17カ所である。避難所の冷暖房器具の購入は地域にぎわいづくり補助金で支援し普及に努めている。また粉ミルクに加え、液体ミルクなど公的備蓄物資として備えている。

問 災害時のトイレ問題を解消するため、処理がしやすく感染予防につながる自動ラップ式トイレを導入しては。

課長 備蓄計画に基づき簡易の組立てトイレを100個、トイレ処理剤1万回分を保有している。自動ラップ式トイレの導入については現行の備蓄品との相違点をふまえ研究したい。

ごみの出し方に対する説明と支援を

問 移住者が外国人の場合、言葉の問題でごみの分別が難しいと推測する。多言語化対応に向けた取り組みは。

課長 船井郡衛生管理組合が令和7年10月改定のごみの正しい分け方と出し方の冊子に対応した外国語版の資料を作成された。今後活用していきたい。

問 ごみを自力で集積所まで運ぶことが困難な高齢者などを対象に、支援を行う考えは。

課長 現在の収集業務体制の中では多くの課題が想定され難しい。有料にはなるが、船井郡衛生管理組合の許可業者による戸別収集は実施されている。

畑川ダム周辺整備を

問 令和8年度の畑川ダム周辺整備の計画は。

部長 現在まで基本構想を策定し、京丹波くりにメインとした公園を整備する方針であり、8年度も取り組んでい

く。
問 京都府と協議は進んでいるのか。

町長 京都府知事に対し、重点項目として要望を続けてきた。整備事業について説明し、支援をお願いしている。

和知老健施設の現状と課題は

問 設備・施設の現状と課題は。

課長 空調設備の更新時期であり、多額の経費が必要である。運営面では、介護士などの不足、入所者の確保、一般会計からの繰入を必要としている。

スクールバスの導入を

問 下山小学校区内のスクールバスの導入は。

教育長 現行のバス路線の活用は難しい。教育委員会が保有している公用車を活用し、猛暑対策への対応をしていきたい。



森林資源と畜産堆肥を活用した高付加価値の ブランド農林産物を返礼品に活用しては



にしやま よしあき
西山 芳明 議員

町長 バイオマス活用や地域環境を掛け合わせたブランド米づくりの調査研究を進める



ふるさと納税の返礼品 京丹波産米
(地域商社 KYOTAMBA)

問 町長は、10年間で100億円の投資を呼び込むとするが、ふるさと納税の年間目標10億円を目指すとなると、返礼品も現在の倍が必要となる。

高付加価値ブランド農林産物を返礼品に取り入れては。

町長 環境負荷低減の取り組みと地域環境を掛け合わせた、付加価値の高いブランド米づくりの調査研究を進める。

問 新たな返礼品として、町内民宿や飲食店などの利用や農業体験、収穫体験など「コト消費」も活用しては。

課長 令和7年度は宿泊関連寄附金が着実に伸びているが、宿泊施設は小規模なものが多く、返礼品の事務処理などが若干負担となる。8年度からは個々の事業者の事務負担を軽減し、全体で宿泊需要に対応した町内共通宿泊券の仕組みを構築したい。

水道事業の現状と
今後の課題は

問 町内各所で漏水が頻発している。根本的な老朽管の更新状況は。

課長 管路の更新率は令和6年度0・22%、令和7年度当初計画ベースで0・23%である。

問 一般会計の繰り入れに依存している水道会計は財政調整基金も年々目減りする中で、自主財源の確保は一層厳しさを増してくる。

繰入金が無くても事業の維持は可能か。

町長 繰入金がなくなると極めて困難であり、料金改定を含めた自主財源確保が必要となる。

問 累積している使用料滞納金の解消に注力すべきでは。

町長 令和6年度から給水停止も含めて滞納金の徴収に努め、6年度決算で初めて減少に転じ、現年分の収納率

も若干向上している。

こども議会の意義と
提案に対する実現に
向けた対応を

問 令和7年度のことでも議会を総括すると。

町長 子ども視点で指摘し、回を重ねるたびにプレゼンテーション力が高まっている。本町の探求型学習は府内でも先進的な取り組みである。

教育長 地域課題に対するアイデアを発想豊かに考えられたこと、地域の人たちの力を借りて一緒に考えて取り組もうとしたこと、自分たちの町や生活を自ら良くしようとする熱意と真剣さが伝わってきた。

問 日々の学校生活での変化は。

教育長 自分たちの学校、地域を自分たちの手でという自治の意識、参画意識が高まっている。



ひぐち ゆみ
樋口 由実 議員

道の駅「和」の混雑緩和対策を

町長 警備員による交通誘導の拡充など、混雑対策を総合的に進めていく



道の駅「和」(坂原地内)

道の駅「和」周辺では行楽シーズンに駐車場待ちによる渋滞が発生し、住民から安全面や生活への影響を懸念する声がある。こうした状況について、町としての見解は。

町長 混雑が深刻化していることから、住民生活への影響を課題と認識している。民間警備員による交通誘導の拡充や周辺駐車場の活用、施設の受け入れ体制の改善など、総合的

な対策を進めていく。
高齢者の見守り体制と地域のつながりは

問 今冬は積雪が多く、外出困難や転倒・孤立への不安の声があった。こうした中、本町での高齢者の見守り体制の現状と課題は。

課長 高齢者の見守りは、民生委員やケアマネジャー、事業所、地域包括支援センターなどによる訪問や連絡、事業者と連携した見守

りネットワークにより実施している。一方で、地域や家族とのつながりが希薄な方の把握が課題である。

問 高齢者サロンは縮小や休止が見られ、担い手の高齢化や後継者不足も課題となっている。町はどのように把握しているのか。

課長 コロナ禍による休止の影響で参加者は減少したものの、徐々に回復し、令和6年度は町内50サロンで延べ約9千人の参加があった。ただし、以前の水準には至っていない。

担い手不足の要因としては、人口減少や就業環境、地域活動への意識の変化などが挙げられ、統合開催や外部講師の活用など運営の工夫も進められている。

若年層・新婚世帯の定住対策を

問 京丹波町新婚世帯支援事業について、こ

れまでの交付数や補助額の推移、移住・定住促進への効果をどのように認識しているのか。

課長 令和4年度から6年度までの3年間で7件、計332万8千円を交付した。申請者からは支援への評価が高く、7世帯中6世帯が移住者を含む世帯であることから、一定の効果があったと認識している。

問 現行制度では、夫婦のいずれかが移住者の場合は60万円、町内同士の婚姻は、30万円となっている。町内で育った若者の定住促進の観点から、町内同士の婚姻にも同額の支援をすべきでは。

課長 本事業は府外移住者を対象に加算措置を行う事業で、現状要件の変更はないが、町内定住も課題としており、今後検討していく。



全国都市緑化フェアin京都丹波 の周知徹底を



まつむら ひでき
松村 英樹 議員

町長 今後リーフレットを全戸配布する



緑化フェア会場の山野草の森

問 全国都市緑化フェアは、昭和58年から毎年、全国各地で開催されている日本最大級の花と緑の祭典である。今年は9月18日から52日間、亀岡市・南丹市・京丹波町で開催される。住民の方に周知徹底を図る取り組みは。

答 ホームページやSNSを活用し周知している。今後、リーフレットを全戸配布する。熱中症対策として、会場にウォーターサーバーを設置する考えは。

問 実行委員会と情報共有し、研究していく。

答 緑化フェア会場から4箇所の道の駅を巡る周遊バスの運行を。

問 町営バスやデマンドタクシーなど、二次交通の利用を促進していく。

答 京丹波町の食のキャラクターである京丹波味夢くんのPRを。

問 2市1町のキャラクターが一体となった、緑化フェアの公式ポスターを掲示する予定である。

問 緑化フェアでは来場者が多く見込まれる。町や議会からJR和知駅や下山駅に簡易自動改札機を設置を要望しているが、状況は。

答 西日本旅客鉄道株式会社も課題と認識している。緑化フェアではQRチケットサービスによる対応を行う。

問 府が乳幼児家庭外支援事業として、オムツなどの外出応援キットを配布する。本町における活用方法は。

答 0歳から2歳児のいる子育て家庭からのウェブ申請に基づき、府から申請者に直接、外出応援キットが送付される。町として周知を図っていく。

問 卒業や身体の成長

制服などの
リユース支援を

答 すでに、制服などの譲り合いの仕組みを構築いただいている。今後、情報提供に努め研究する。

問 避妊や去勢手術を保護目的として保護器を貸し出す考えは。

答 研究していく。

問 保護猫の、ノミ・ダニ駆除薬の購入費用を助成する考えは。

答 現在のところ考えていない。

問 多頭飼育の現状把握と見守り活動の強化を。

答 保健所と連携し、啓発や指導を行う。

乳幼児家庭の
外出支援を

保護猫活動の
支援強化を



たにぐち かつみ
谷口 勝已 議員

財政健全化の対策は

町長 行財政改革を積極的に推進し、財政の健全化を行う



JR和知駅（本庄地内）

問 現在の借入金の高は。

課長 令和7年度1月補正予算後、約136億1768万円である。

問 財政調整基金残高の状況は。

課長 令和7年度1月補正予算後、約7億7246万円である。

問 現状の財政運営で課題と認識している点は。

町長 人件費や社会保障関係費の増加、新庁舎建設などの元金償還

の開始など、固定的な経費が増加している。また、上下水道、道路などのインフラ整備費用も増加している。

歳入は、町税、地方交付税の減少など基盤的財源の安定確保が難しくなっている。財政運営は、大変厳しい状況である。

問 それらの課題への対策は。

町長 ふるさと納税などの拡大により、向こう10年で100億円の

和知駅前活性化を

外部資金を獲得し、行政の稼ぐ力を向上させる。また持続可能な財政運営のため公共料金などの見直しを視野に、行財政改革を積極的に推進し、安定した行政サービスの提供と財政健全化の両立を図る。

問 全国都市緑化フェアin京丹波では、会場となる山野草の森への来園者の多くが和知駅を利用することが見込まれる。第一印象が重要であり、町のPRを行う絶好の機会と考えるが対策は。

支所長 和知駅ホームの観光掲示板を和知太鼓と人形浄瑠璃に更新した。

問 和知駅構内の喫茶「山ゆり」は、同駅の顔であり町民の憩いのスペースである。客数の減少と従業員の高齢化で存続が危惧されている。町として、でき

る支援策は。

支所長 和知駅前活性化委員会とともに伴走支援に努める。

問 金曜宵の市は、和知駅前活性化委員会に所属の2店舗が協力し、子どもを中心に盛況のうちに推移している。これをさらに発展させるべきでは。

町長 和知駅前活性化委員会や出店者のみなさまと、持続可能なイベントとなるよう引き続き応援していく。

和知地区周遊圏観光協議会の復活は

問 和知地区周遊圏観光協議会を復活させ、町と協働し、観光施策を推進する考えは。

町長 体制の再構築を検討していく必要がある。和知地域の観光振興を着実に前に進めていきたい。



第2次京丹波町総合計画 (後期基本計画)の達成状況は



おくだ けんじ
奥田 健次 議員

町長 全体的な状況について、おおむね順調に進んでいる



耐震診断未実施の中央公民館

問 第2次京丹波町総合計画（後期基本計画）は、まちづくりに関する計画の中で、最上位に位置づけられている。同計画の達成状況は。

町長 第3次計画の策定に向けて、成果指標の達成度などについて、現在分析を進めている。詳細については、とりまとめ後に報告する予定であるが、全体的な状況について、おおむね順調に進んでいる。

町有施設の
耐震診断は

問 建築物の耐震改修の促進に関する法律では、耐震診断の義務付け、結果の公表をしなければならないとある。

町長 本町で該当する建築物及び耐震診断の結果は、町内に旧耐震の特定建築物は11施設あり、そのうち耐震診断ができていない町保有の施設は中央公民館の1施設である。

問 中央公民館の耐震診断ができていない経緯は。

課長 建築物の耐震改修の促進に関する法律では、努力義務に該当し耐震診断は実施していない。

問 京丹波町地域防災計画では、「町建築物耐震改修促進計画に基づき耐震診断・耐震改修の促進を図るとあり、また、公共建築物の老朽対策として計画的かつ戦略的な施設の維持管理をする」とある。

町長 最も古い中央公民館の現状と今後の計画は。教育課長 京丹波町社会教育施設等長寿命化計画に基づき管理を行うとともに、今後、社会教育委員会議で中央公民館のあり方を考えていく。

ふるさと納税の
持続可能な
制度運用を

問 ふるさと納税が年々増加している状況で寄附金の活用方法の公表など、情報発信を充実させる考えは。

町長 貴重な寄附金がどのように活用されているか、活用状況の公表を今後実施する。

戦略的な
人材育成を

問 人事評価制度の最大の目的は人材育成である。評価制度の今後の活用は。

課長 個々の強みや改善点の理解など対話の機会を増やし、人材育成と、組織活性化に向けたツールとして活用する。



ひがし
東 まさ子 議員

中小零細業者の 実態調査を行い、支援策を

町長 地域循環のための施策に取り組む



旧須知小学校（須知地内）

問 町内の中小零細業者の実態調査を行い、支援策を。

町長 経営相談や国の交付金などを活用し、地域循環のための施策に取り組む。

問 町が発注する工事や物品の購入は町内業者優先で行っているのか。

課長 物品などは基本的に町内業者を活用している。

問 商工業者活性化に大きな経済効果が認められていた、住宅改修補助金制度の復活を。

町長 木造住宅の耐震化に取り組む方針であり、考えていない。

図書館のあり方は

問 商業施設内への公共施設機能移転に関する調査してきた内容は。

課長 現地調査を行い、建築基準法や消防法、図書館法など関係法令との適合性調査を実施した。

問 町民の意見を聞き生かしていくべきでは。
町長 意見を聞くことは大事である。
問 現在使用されている

ない公共施設がある中で、丹波マーケスへ移転することを決めた理由は。

町長 図書館機能としての利便性向上や商業施設としてのにぎわいを創出する複合的地域課題の解決を図るためである。

文化財としての保存を

問 旧須知小学校は後世に伝えるべき貴重な財産では。

教育長 建築物としての安全対策、管理体制、活用計画など、研究課題がある。

資格確認書の一律交付を

問 後期高齢者医療保険は、本年7月末までの資格確認書を職権で一律交付した。8月以降も一律交付するよう広域連合に求めるべきではないか。

課長 マイナ保険証の

利用率の増加、薬剤情報、の閲覧、救急現場での活用、高額療養費の手続きの省略などメリットが大きい。国の方針であり、混乱が生じないよう広報に努める。

子育ての財源は国で

問 令和8年4月から子ども・子育て支援金を保険税に上乘せして徴収するが支援金額は。
課長 704万2千円計上した。

問 子育てのための財源は国の責任で行うべきでは。
町長 国に意見する立場ではない。

負担増はやめるように

問 国に対し、OTC類似薬の保険外しや、高額療養費制度の患者負担引き上げを行わないよう求めるべきではないか。
町長 国において検討されるべきと考える。



小規模校であっても 公平な教育の保障を



やまざき まさひろ
山崎 眞宏 議員

教育長 各校と合同での教育、両方のよさを取り入れ進めている



左上から 竹野小学校、下山小学校、丹波ひかり小学校

問 小規模小学校への教育的な評価は。

町長 まちづくりにしつかりとつながっていると確信している。

問 公平な教育の保障を。

教育長 各学校のもつ良さを生かした教育、合同で一定の集団を確保した教育、この両方のよさを取り入れた教育を進めている。

問 統廃合した場合の影響の認識は。

教育長 統廃合は地域に与える甚大な影響も懸念されることから、

地元のみならずとの緊密な連携が重要であり、総合的な視点が必要と認識している。

高い相乗効果を
発揮する図書館配置を

問 人が集う場、教育的な場としての図書館配置の意義は。

教育長 未利用者の学習機会や学びへのアクセス向上を期待する。

問 庁舎内のこだち図書と丹波マークスに

転検討中の中央館の双方を生かす方法は。

教育長 移転の有無にかかわらず、両施設の相乗効果は機能すると考えている。

デジタル地域通貨の
検証を

問 地域通貨の現時点での評価は。

課長 地域活性化に向けた課題は多いと認識している。

問 将来的な財政負担は。

町長 理想と現実のギャップがあった。効果を検証していきたい。

問 継続または見直し、撤退の判断基準は。

町長 進捗状況や社会情勢の変化などに応じて、財政支出などの見直しを図っていく。

地域おこし協力隊員の
ミッション遂行は

問 各隊員の活動状況

課長 本人との定期的な面談や意見交換、報告書などで日々の状況を把握している。活動状況を広く知ってもらえるように検討する。

問 協働制度と新規就農支援制度の役割や支援内容は十分、整理できているか。

副町長 隊員は都市部からの移住を要件として、将来的な定住を目的に農業などに取り組んでいる。一方、新規就農支援制度の利用者は、独立・自営就農などを目指されている。

2つの制度を効果的に活用いただきながら、農業の担い手育成に取り組んでいく。

問 隊員の成果や町全体への波及効果の検証は。

副町長 必要に応じ、ミッションやプロジェクトの見直しなども行いながら、定着を目指した運用を行っている。

「こども議会開催

令和7年度 京丹波町こども議会が1月29日、町内の小学校6年生により役場議場において開催されました。

こども議会では、町に根ざした探究的な学びの成果を発表し、まちづくりへの思いや提案を町長や議員、関係者などに伝え、ふるさとへの愛着と誇りを深めることを目的としています。

質問や提案などは次の通りです。

和知小学校

第43回全国都市緑化フェア[®]を活用した和知地域活性化プラン今年度の秋に開催される緑化フェアを活用した周遊型・体験型プランの提案。道の駅との現状と課題への質問。

瑞穂小学校

みずほ夕涼み大会の企画・運営を通して私たちが考えたこと

地域のよさや、人のあたたかさを多くの方々と共有するための町全体をフィールドとした町内小学校合同イベントの開催を提案。

下山小学校

「下山へようこそプロジェクト」

丹波八坂太鼓をきっかけに、下山駅を活用した地域の魅力盛りだくさんのお祭りを提案。猛暑時のバス登校の要望。

丹波ひかり小学校

「今」のわたしたちが未来を創る

町の魅力を多くの人に知っていただき、関係人口を増やすための具体的な施策や、自然を生かした新たな観光スポットの提案。

竹野小学校

竹野を広めよう

Let's go to Kyotamba Town! 地域や学校の魅力を全国に発信し、人口増を目指す取り組みの提案。須知高校と共同したバジルクラッカーの商品化を提案。

各小学校から、地域の魅力や課題をふまえた具体的な提案がなされ、子どもたちの主体的な学びと町の未来への思いが感じられる、こども議会となりました。



議会だより第88号(令和7年5月発行)掲載の質疑から

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

第61回 追跡調査

あれから どないなっとるんや〜?

問 学校給食へ有機食材の取り入れを。

教育長 町内産特別栽培米による米飯給食を提供していく。

こうなった!

令和7年10月から特別栽培米を提供する給食が始まった!





ビューティフル クオリティ！ 質美！！

行佛区 上田 うえだ 大輔さん だいすけ (50歳)

亜紀さん あき (46歳)

求めて移住しました。

今回は、行佛区でつみ木家具店を
経営される傍ら、猟友会や地域団体
で精力的に活動されている上田大輔
さん・亜紀さんご夫婦を紹介します。

—質美に來られて、どのくらいにな
りますか。

今年でちょうど20年になります。
もともとは大阪市住之江区に工房を
構えていましたが、アニメに出てく
るような、日本らしい田舎の風景を



笑顔もビューティフル クオリティー！

—ものすごく質美を愛されていますよ
ね。

そもそも「質美」という地名が移
住の決め手なんです。質美を英語で
いうとビューティフル・クオリティ
じゃないですか。家具屋として、地
名から力をもらえる。実際、住んで
みると、適度な距離感があり、一緒
に楽しんでくれる人がいる。人にも
暮らしにも嫌な思いをしたことがな
いんです。自然体で徐々に関係性を
広げていけたことが、よかったです
と思っています。

—100年100人ベビーベッド・
プロジェクトというのは。
20年前に作ったベッドで、繋がり
のある人に使ってもらっていたら、
10年が過ぎ10人の赤ちゃんと巡り
合った頃、100人目指せば100
年家具になる！と、ひそかなライフ

ワークとして楽しんでます。今、
20人目の赤ちゃんに使ってもらって
います。金具を使わず木を組んで
作ったものは100年使えます。

—狩猟の面白さはどのようなところ
にありますか。

犬が好きなのですが、犬との信頼
関係の中で、命懸けで一緒に関われ
ることが狩猟の魅力の一つです。

—消防団や質美笑楽講管理運営委員
会など、地域の活動にも積極的に
参加されていますね。

質美は旧小学校が中心にあり、地
形的なまとまりと、地域としての連
帯も強いんです。そして強制はしな
いけど、できる人がやりたいことをや
る、そんな活動ができる場所です。

—これから京丹波町や質美地域でど
んなことをしていきたいですか。
ここに居る人たちで「今」を楽し
んでいきたいです。おもしろいこと
を続けて、それが結果として地域の
ためになればうれしいです。あと地
域にゆかりのある漫画で地域が盛り
上がっていることがうれしいですね。
(記者 居谷知範)

議会の傍聴に おこしく下さい

編集後記

新年度がスタートし、新緑の季節となつて
まいりましたが、いかがお過ごしでしょ
うか。

3月の定例会では、12人の議員が一般質問
に立ち、活発な議論が行われました。また物
価高騰の中で、町民のみなさまの暮らしに関
わるさまざまな議案や、将来のまちづくりに関
わる課題など、一つひとつの議案を慎重に
審議いたしました。

今後の京丹波町において、安心して暮らし
続けられる環境を整えるために、健康づくり
や地域の支え合いをどう進めていくか、こ
ういった視点を忘れず、より良いまちづくりに
向けて取り組んでまいります。

この議会だよりが、まちづくりを身近に感
じていただく一助になれば幸いです。

大澤順可

表紙の写真

撮影日 令和8年3月29日
撮影者 山崎眞宏
場所 京丹波町質美
みずほ人形の家みやび

